

「平成29年木材需給表」の公表について ～木材自給率は7年連続で上昇～

林野庁は9月28日に、我が国の木材需給の状況を明らかにする「平成29年木材需給表」を公表しました。

平成29年の木材の総需要量は、8,172万㎡(丸太換算。以下同じ。)で前年に比べ4.7%増加しました。この結果、10年ぶりに8千万㎡台に達しました。

国内生産量は2,953万㎡で前年に比べ8.8%増加し、輸入量は5,219万㎡で前年に比べ2.5%増加しました。

平成29年の製材、合板等の用材の自給率は前年から0.4ポイント上昇して31.5%となり、用材にしいたけ原木及び燃料材を加えた総量の自給率は、前年に比べて1.3ポイント上昇し、36.1%となりました。用材、総量ともに自給率は、平成23年から7年連続で上昇しています。

より詳しい「木材需給表」の内容は下記のURLから御覧になれます。



http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai_zyukyu/index.html

木材の供給量及び木材自給率の推移

